ヒューマン支援ネット

クリエイト通信

２０１４年
６月１日号
創刊号

☆☆　理事長挨拶　☆☆

いよいよヒューマン支援ネットが第一歩を踏み出しました。

少し個人的な話になりますが、先日、20 年前に私が 50 歳のときに関わり創業した「心身に障がいのある３０名の方たちが働く印刷会社」を、オホーツク海に面した北海道北見市に尋ねました。印刷工房をのぞくと、印刷技術やデザインのことなど全く知らなかった車いすの K 君が、すっかり熟練して颯爽と店舗のチラシや広告をデザインしています。難聴のため言葉も不自由だった T さんが、周囲の仲間に手話を学んでもらって、意気投合して印刷作業を次々とこなしています。知的障がいがあり、印刷業務は無理かなと思っていた若い I 君が、印刷資材の管理の仕事をしっかりと、そして持ち前の周りを明るくする笑顔でこなしていました。「できるかな」と心配していた私の予想を彼らは見事に覆し、いきいきと溌剌と事業を継続させてくれていたのです。

長年、様々な企業で人に関わる仕事を続けてきていますが、事業が成功する最大のポイントは、一人ひとりの「個性」を生かしたときだと断言してもよいと思っています。また一人ひとりにとって、何よりも幸せで人生の充実感を覚えるのは、自分の「個性」が発揮されたときではないでしょうか。

そして、この「個性の発揮」は、人と人とのつながり・ネットワークでしか実現しません。ネットワークによって支援しあう心のつながりが、一人一人の「個性」をさらに輝かせ、元気にする「畑」だと思います。

ヒューマン支援ネットのキャッチコピーは「誰もが個性を活かし、未来に希望の持てる人生を応援します」です。男女共同参画、保健・医療・福祉、地域社会の発展、人権・平和のフィールドで、メンバー一同、「個性」を見つめ、「個性」を活かす活動を一心に継続して参りたいと誓っております。

ヒューマン支援ネットでは、こうした日々の活動状況をご報告する「クリエイト通信」を発刊します。年２回（6 月、12 月）の予定で、今回が創刊です。次号以降も、皆さまのご意見や情報が命です。末永きご活用を祈念いたします。

理事長　小西勝巳

旧会長挨拶

今、人が人として生きることの難しさ、人としての尊厳、生活や社会基盤さえ揺るぎ、これでよいのかと危機感さえ持ちます。また、人と人とがつながることや理解しあい支える事もなく、孤立・孤独な人も増加しているのが現実です。私たちは、こうした現実と向き合い、それぞれが“自分らしく生きる社会“の構築のために、小さなことから細やかに、まごころを持って支援するために、「ヒューマン支援ネット」を設立しました。

この一年間は、「ヒューマン支援ネット」の団体名と活動を知っていただくために、いろんな方の支援や助言をいただきましたことに心より感謝申し上げます。また、会の目的や講座に賛同してくださる方にご協力をいただいたり、激励をいただいたことは原動力になりました。

これからも、市民の皆様のニーズに沿った事業を企画し、「参加して良かった。今後の生き方に希望と活力がでてきた。」と思えるような活動と支援をしていきます。

池田　淑子

☛設立経緯

○2012 年 10 月 16 日　任意団体設立に向け初会合
設立に向け、それぞれの専門性を活かし、地域社会の貢献と発展を願い、定期的に会議を開催
○2013 年 6 月 14 日　「ヒューマン支援ネット」設立総会

☛会の目的・理念

「この会は、社会生活の改善と向上を目指し、事業を総合的に展開する事により、人が人として尊重され生き生きと生活できる安全・安心な社会の構築、及び、男女共同参画社会の実現と地域社会の発展に寄与する。」

☛活動内容

（1）男女共同参画社会の形成の促進を図る活動
（2）保健、医療、または福祉の増進を図る活動
（3）地域社会の発展に寄与する活動
（4）人権の擁護及び平和の推進を図る活動
（5）前号に掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動

☛キャッチコピー　【誰もが個性を活かし、未来に希望の持てる人生を応援します】

誰もが未来に向かって夢や希望をもち、人と人とのつながりを大切にして、世代を超えて安心して生活できる社会を目指し、自らが一歩踏み出し生きることを応援します。

☆☆　総会報告　☆☆

ヒューマン支援ネット総会

1　開催日時：２１０１４年５月２２日（木）　１８：００～１９：３０

2　開催場所：広島市中区地域福祉センター　大会議室３

3　出 席 者：会員数２０人、出席者７人、書面議決又は委任状による出席者７人　欠席者３人

4　ヒューマン支援ネット規約第１０条２項により、会員の３分の１以上の出席により総会は成立

5　議長選出　会長が三浦宏司氏を指名し、賛成多数で議長に就任

6　議事　第１号議案　２０１３年度事業報告

第２号議案　２０１３年度活動報告（決算報告）

第３号議案　２０１３年度監査報告

第４号議案　２０１４年度事業計画（案）

第５号議案　２０１４年度活動予算書（案）

第６号議案　定款の変更（案）

第７号議案　役員の選出（案）

第８号議案　特定非営利活動法人の申請（案）

第９号議案　会費（案）

7　第１号～第３号まで一括審議

第４号～第５号まで一括審議

第７号～第９号までに、個々に審議され、満場異議なくすべての議案が承認可決された。

☆☆　新役員紹介　☆☆

理　事　長　　小西　勝巳

業務執行理事　　池田　淑子

業務執行理事　　中林　仁惠

業務執行理事　　吉村　佳子

理　　事　　畠山　京子

監　　事　　三浦　宏司

☆☆　年会費、会員募集　☆☆

年会費　　正 会 員：５０００円

賛助会員：１０００円

☛ 正会員、賛助会員を募集しています。

連絡先　℡　050-1365-5981

メール mgpgc285@ybb.ne.jp

☆☆　２０１４年度事業（開催決定事業）　☆☆

事業名	事　業　内　容	実　施　日　時	実施場所
貧困に関する事業	広がる子どもの貧困 規制緩和と競争社会の中で、所得格差が拡大し、再び貧困に対する社会的関心高まった。この講座では、子供の貧困、貧困と教育格差、貧困の世代間連鎖と、貧困故の親子関係が子供に与える影響にも焦点を当てる。	２０１４年 ７月５日(土) 10:00～12:00	広島市中区民文化センター
福祉に関する事業	発達障がい児支援 昨年度の継続事業 １回目：高機能自閉症・アスペルガー症候群の特性と援助の仕方 ２回目：注意欠陥多動性障がい・学習障害の特性と援助の仕方	２０１４年 ７月 26 日(土) ８月　２日(土) 10:00～12:00	広島市社会福祉センター
	健康ウォーキング これから運動を始める人に取り組みやすいと言われている「ウォーキング」。知っていそうでわかっていない正しい歩き方、効果的なストレッチ、靴の選び方と履き方、水分補給のタイミング、季節ごとの注意点等を学び、実際に元安川から平和公園あたまで歩きます。	２０１４年 10 月８日(土) 10:00～12:00	広島市中区福祉センター

☆☆　２０１４年度事業（開催予定事業）　☆☆

事業名	事業内容	実施日時	実施場所
男女共同参画社会推進事業	雇用労働者支援 労働者として知っておくべき基本の法律、パート労働法、派遣労働法、労働契約法、育児・介護休業法、セクハラ、パワハラ等について学ぶ	２０１４年９月	広島市中区福祉センター
	家庭の性教育 生活基盤ができないうちに妊娠出産し、生活困窮から離婚、子どもの虐待が増えている今日、中学生になるまでに家庭での性教育がいかに大切かを学ぶ	２０１５年１月	広島市中区福祉センター
福祉に関する事業	親子のシェルボーン・ムーブメント 親子の愛着形成と、ふれ合うことで五感を育て、関わり方を知り、親子の絆を深めること等、子育ての支援につなげる	２０１４年１０月	広島市中区福祉センター
	メンタルヘルス 家庭や職場でうつ症状を訴える人が増えている。認知行動療法を中心にその対策を学ぶ	２０１５年 １，２，３月	広島市中区福祉センター
キャリア形成事業	傾聴ボランティア養成 近年、高齢者と会話が難しい、うまくできないという人が増えている中、高齢者の話し相手を養成する	２０１４年 １１、１２月	広島市中区福祉センター
その他	会報発行	６月、１２月	

発達障がい児支援講座を開催しました

開催日：2013 年 10 月 22, 29 日(火)
講座：10:00～12:00　相談：12:00～13:00
内　容：発達障がい児の、生活上の困難さを生じやすい特性の理解と、特性をふまえた支援・援助の仕方について学んだ。
講　師：米田香代子
岩国短期大学講師　元公立保育園・北部療育センターくすのき園園長
社会福祉法人清流　可部つちくれの家支援員

・日々の中でわが子のよいところをしっかり認めて上げようと思いました。
・子ども中心に、子どもの立場で考えていく

・わが子の苦手なところ、伸ばさなければいけないところが再発見できた
・わが子とじっくり向き合って子育てしていきたい

☛退職後の生活設計講座

開催日：２０１３年１１月３０日（土）１３：３０～１５：３０　中区地域福祉センター
内　容：消費税、社会保険料、高齢者医療、介護保険料、物価の値上がりなど、支出費用は多くなる。その反面、収入は増えない。生活していくためには、生まれてから生涯を終えるまで、また死んでからもある程度のお金がかかる。といったことから、定年退職前に退職後はどのような生活がしたいか、それはいくらの費用が必要かを、資料を基に学習した。

☆参加者の声

・事前にリスクを避けた動きができるかと思います
・子どもに伝えたいと思う内容もありました

☆☆　会員のひろば　☆☆

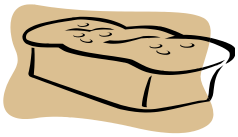
念願のスイスデトレッキング

１４・５年前から山に登り始め、初めのころはとにかくみんなについていくのがやっとの思いでした。しかし回数を重ねるごとに余裕？そして体力もついてきて、途中に咲いている草花に癒され、登り切った時の達成感、そして眺望など・・・何とも言えません。今ではすっかり山の魅力にはまってしまいました。そしてついに昨年、念願だったスイスでのトレッキングが実現しました。映像で見ていた3000～4000m級の山々を実際に目前にして歩いている自分が嘘のよう。とにかく「ワァー　きれいすばらしい」という感嘆符の付く言葉しかでませんでした。

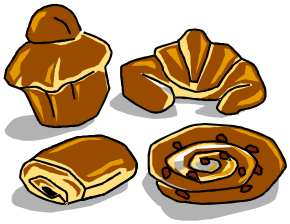
これも元気だから経験できたと健康な体をくれた両親に感謝です。今年は、南アルプスの北岳に登る予定です。今は、毎日１万歩を歩いて脚力をつけています。　　西川　芳枝

✿　✿　可部つちくれの家の手作りパンと焼き菓子　✿　✿

米粉を 30%以上使って作っています！　　仲間6人と職員二人で作っています！
モチモチした食感で小麦粉だけのパンよりも重量感もあるんですよ。保存剤を全く使っていない体に優し～い安心・安全なパン！　しかも、とってもおいしいので～す。

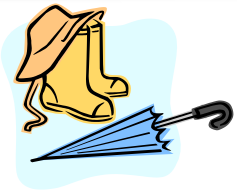


一押しは何と言っても食パン！
♥そのままで食べてＧｏｏｄ　♥トーストしてもＧｏｏｄ
おいしい食べ方のもう一つのコツは「賞味期限日未食のパン」は必ず冷凍保存に！
後日食べる前にオーブントースターで焼くと、再び出来立てと同じおいしさに！
柔らかくて香ばしい風味が楽しめます。
種類も色々あります！クッキー
アーモンドチュイール、
フィナンシェ、レモンケーキ
等々ぜひご賞味ください。
　お願いいたします。



お電話お待ちしています！
ＴＥＬ082-818-6759
FAX082-818-6769
藤谷まで

編集後記



ヒューマン支援ネットの創刊号がやっとできました。原稿を寄せてくださった方本当にありがとうございました。６月と１２月の年２回の発行としています。原稿を寄せてください。皆さんと一緒に作っていきたいと思っています。（吉村）

発行元：ヒューマン支援ネット　　廿日市市平良二丁目１番１号　　電話：050-1365-5981
メール：mgpgc285@ybb.ne.jp